

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「メモ魔」

緊急事態宣言が全国に発令されて、まもなく一ヶ月を迎えます。当社の場合は、仕事柄、テレワークが可能なため多くの業務をスタッフがテレワークで対応しています。このような状況になってみると、やはり近くにスタッフがいて依頼すればすぐに対応してくれる状況の有難みがわかるように思います。今までは、私の指示が曖昧で、今一つ要点を得ていなくても、そのお客様の背景や要望を感じ取っていてくれるので特に問題はありませんでした。しかし現在は細かい指示が必要な場合があります。こんなとき、要点をまとめ、簡潔に伝えることが求められます。

ある先生のお話をネットで拝見しました。インプット（聞く）とアウトプット（書く、話す）との間には、重要な力が必要なのだそうです。それは、頭の中で自分ながら考える力だといえます。私たちは、読み手、聞き手が、理解できるような文章を作っているか？ 相手が理解しているか？ を一瞬の間に判断し出力しているそうです。そして、その能力は誰でも生まれながらに持っているということには驚きました。しかし、最近書くことが少なくなり、直接話す代わりにメールやSNSを利用するようになりました。そうすると、相手が理解していないことを理解できない、という状況に陥りやすくなってしまっているのです。お客様の要望を聞き出し（インプット）、お客様に関するいろいろなことを考え、スタッフに伝える（アウトプット）。私にとって非常に重要なことですから、再認識する必要があると思えました。

さて、私の場合は、以前から手帳などに手書きでメモをとってきました。後からみたととき、手書きだと字の大きさや太さなどで

その重要度が記憶に残りやすいように感じていたからです。時に、汚い字で何を書いたのかわからなくなることもあります。だいたい前後の流れで思い出せるものです。最近では会議などに参加すると、パソコンなどでメモを取る人が多く自分が時代遅れのような気がしていました。しかし「書くこと」で頭の中を整理し、記憶に定着させることができれば、とても有効なのだと改めて気づくことができました。

パソコンでメモをとるといえば、当社のスタッフの一人が私の指示をぱつとパソコンに打ち込んでいます。すべてを入力するのではなく、聞きながら要点を絞り、重要なキーワードを打ち込んでいます。これでも頭の中で考えてまとめているのだと思います。すごい能力だな、と感心することがあります。私は？ という、「手書きメモ人生」を歩んでいるかと思えます。

仕事は、シングルタスクでは効率がありません。みなさんいろいろな場面において、マルチタスクで仕事をしていると思います。複数の仕事を同時に進行していく能力は、聞きながら書く能力と同じだそうです。ミスなくマルチタスクで仕事をするために、「聞きながら書く」とを意識してみてもいいでしょうか。写すという作業でも繰り返すことで様々なことに気づくことができ、理解が深まるそうです。写経などがお勧めとか。私の字を知っている人は、その前にまず「皆が読める字を書け！」と言われそうです。

ご案内

緊急事態宣言の下で…。

多くの方々がそれぞれの事情を抱えながら生活している今。

何よりも大事なのは、**健康**です。

私たちは**体が資本**頑張りましょう！



※ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。

※ アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。
<http://www.raptokyo.co.jp/>